法定点検について

ピーピング・ライフ Peeping Life × 自動車点検整備推進運動

法定点検とは？

ユーザーには、点検及び必要に応じた整備により、自動車を保安基準に適合する状態に維持する義務があり、自家用乗用車の場合、点検の時期や項目は、次のようになっています。

対象自動車	点検時期	点検項目数
自家用乗用車	1年ごと	26項目
	2年ごと	56項目

また、2年ごと（24か月）の点検の概要は、以下のとおりです。

ステアリング装置	ハンドル操作の不具合を防止するため、ロッド及びアームの緩み、がた、損傷等を点検します。
ブレーキ装置	ブレーキの利き不良を防止するため、ブレーキディスクの摩耗及び損傷等を点検します。
動力伝達装置	走行時の振動や動力伝達不足を防止するため、点火プラグの状態等を点検します。
電気装置	エンジンの始動不良や排気ガス悪化防止のため、点火プラグの状態等を点検します。
走行装置	ホイールの脱落などを防止するため、ホイールナット及びホイールボルトの緩み等を点検します。
サスペンション	サスペンションの異音の発生や不具合を防止するため、取付部及び連結部の緩み、がた、損傷等を点検します。
エンジン	エンジンの不具合を防止するため、冷却装置の水漏れ等を点検します。
ばい煙・悪臭のあるガス・有害ガスなどの発散防止装置	熱害による火災発生等を防止するため、排出ガス減少装置の取付の緩み、損傷等を点検します。

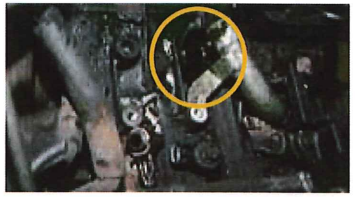
点検結果に基づく整備の例

エンジン・オイル等の交換時期の一例

※年間走行距離等の使用条件や車種によって交換時期は異なりますので、詳しくは車両に備え付けられている取扱説明書を確認してください。また、走行キロと年毎の交換が併記されている場合は、どちらか早い方で交換してください。

交換部品	メーカーが指定する交換時期の例	
	走行キロ	交換年
エンジン・オイル	15,000	1
ブレーキ液	—	2（3）

●エンジン・オイルの交換を怠ったことによる故障例

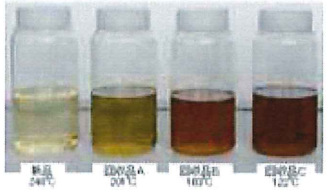


エンジン・オイルの劣化から潤滑不良に至り、エンジンに穴が空き、破損した様子（コンロッドが折れてシリンダブロックを貫通）

エンジン・オイルを定期的に交換しないまま走行を続けると、車両故障の原因となり、高額な費用を要する重大な整備に繋がることがあります。

また、最悪の場合、車両火災に至る事例もありますので、定期的な交換をお願いします。

●使用過程車から回収したブレーキ液



ブレーキ液は、ブレーキペダルを踏み込んだ力を油圧として伝え、ブレーキを働かせる役割があります。

ブレーキ液は、ブレーキの使用及び経年変化等により沸点が下がり、性能が劣化します。

沸点が下がると、ブレーキ作動中にブレーキ液に気泡が発生し、ブレーキが思うように効かなくなる（ブレーキを踏んで、車両が停止するまでの距離が伸びる）危険が生じることがありますので、定期的な交換をお願いします。

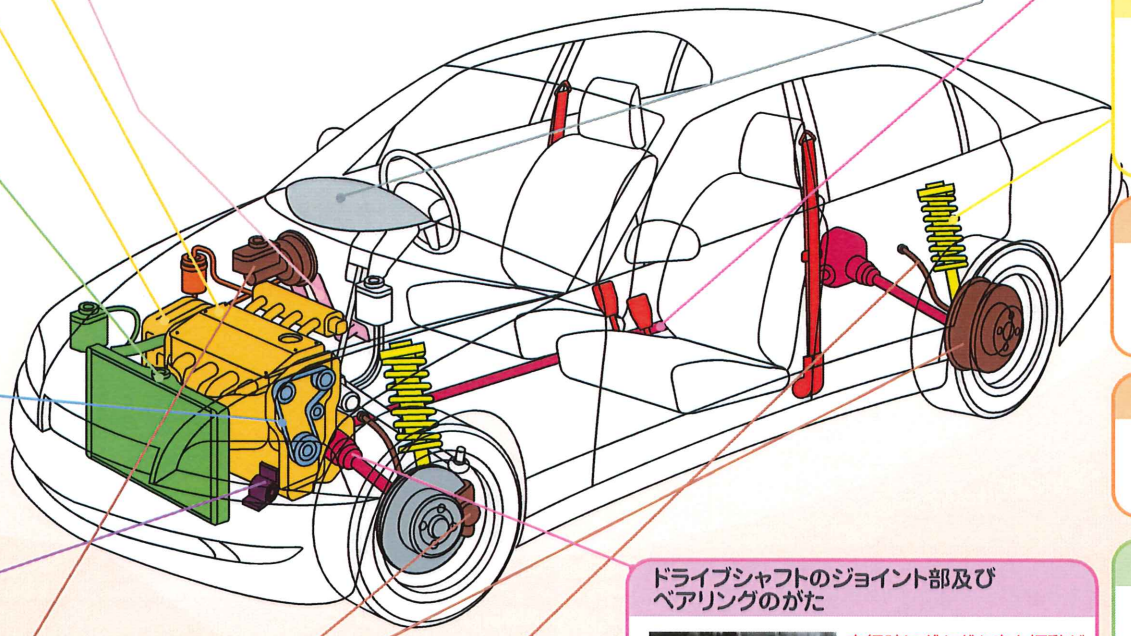
長期使用車両の故障事例
[推奨点検項目を実施しよう!]

乗用車編

長期間使用したクルマは、ユーザーの皆様が気付かないうちに摩耗・劣化しており、このような状態で使用し続けると、突然重度の故障に陥り、多額の出費が必要になるだけでなく、交通事故に繋がる恐れがあります。これらを未然に予防し、マイカーを快適に使用するためには、法定定期点検だけではなく、年式・走行距離に見合った点検整備を実施しましょう!

長期使用車両の推奨点検とは?

長期使用による、摩耗や劣化が起きやすい箇所をピックアップし推奨点検項目としました。
法定定期点検に加えて、長期使用車両に特化した推奨点検整備を実施して、安心・快適なカーライフを楽しみましょう!
○詳しくはお近くの自動車整備工場にお問い合わせください。



各種ペダルパッドの摩耗

ペダルを踏む際に滑りやすくなる!

ブレーキ、アクセル、クラッチ等のペダルパッドが摩耗すると、滑りやすくなります。

スパークプラグ(白金・イリジウム)の交換

点火不良によりエンジン不調、燃費悪化!

電極の消耗等により点火ミスが発生し、燃焼不良状態になります。

クラッチの作用

エンジン回転数だけ上がり、進まない!

クラッチディスクが摩耗するとクラッチが滑ることになります。すると、エンジン回転数だけが上がり、トランスミッションに十分に動力が伝わらなくなります。

ラジエータキャップの状態

オーバーヒート!

ラジエータキャップの機能により、通常冷却水の沸点は100℃超に保たれています。ラジエータキャップが損傷すると、沸点が下がり冷却水が沸騰し、あふれ出すことでオーバーヒートする可能性があります。

タイミングベルトの交換

エンジン停止・破損!

交換時期を超えて、ひび割れしている状態で使用を続けると、ベルトが切れてエンジンが止まってしまいます。最悪の場合、ピストンがバルブを突き上げて、エンジン内部が損傷する可能性があります。

エンジンマウントラバー及びブラケットの状態

エンジンルームからガタガタ音と振動が発生!

ゴム部品等の劣化により亀裂や損傷が発生しショックを吸収できず、異音や振動につながる恐れがあります。

ブレーキマスターシリンダのゴム部品(インナーキット)の交換

ディスクキャリパー・ホイールシリンダーのゴム部品(インナーキット)の交換

ブレーキホースの交換

ブレーキの効きが悪くなる!

各種ゴム部品が劣化するとブレーキオイル漏れが発生し、油圧が低下することで制動力が低下し、停止するまでの距離が長くなる可能性があります。

インジケータランプの点灯状態

車の不調に気付かずに重症に!

警告灯のランプが切れていると、車の不調やトラブルが起きた際にドライバーに情報が伝わらず、重度の故障に繋がる恐れがあります。

プロペラシャフトのジョイント部及びベアリングのがた

走行時にガタガタ音と振動が発生!

プロペラシャフトのベアリングやジョイント部分が摩耗することによりガタが発生し、走行中に異音や振動が発生します。

サスペンションの状態(機能の低下)

段差で車が跳ねる!

長期間の使用により、ショックアブソーバー及びスプリングがへたると、段差で車が跳ねやすくなったり、揺れが収まりにくくなり、乗り心地が悪くなります。

フューエルホースの交換(エンジンルーム)

燃料漏れによる臭い! 最悪、車両火災に!

ゴム素材のため、振動や伸縮の繰り返しやエンジンルーム内の熱気によりホースが劣化することで、燃料漏れが発生し、最悪、車両火災に至る可能性があります。

フューエルフィルタの交換

エンジン不調!エンジンが掛からない!

フューエルフィルタに異物がたまり、適正な量の燃料を供給できなくなり、エンジン不調の原因になります。

クーラント(LLC、冷却水)の交換

ボンネットから煙が!オーバーヒート!

指定の交換時期を過ぎたまま使用し続けると、腐食防止性能が低下し、エンジン内やラジエータ内を腐食させ、錆などが冷却水の通路を詰まらせてオーバーヒートしたり、ラジエータに穴が開き、冷却水漏れを起こす可能性があります。

プラグコードの状態

エンジンの調子が悪い!加速時にもたつく!

プラグコードの劣化により、点火ミスが発生し、点火不良状態になることで、エンジンの調子が悪くなります。

ドライブシャフトのジョイント部及びベアリングのがた

走行時にガタガタ音と振動が発生!

ドライブシャフトのベアリングやジョイント部分が摩耗することによりガタが発生し、走行中に異音や振動が発生します。

シートベルトの損傷、作用

衝突事故でシートベルトが効かず、大ケガ!

シートベルトがほつれていたり、切れていたりすると、事故等の際に本来の機能が働かず重大な怪我につながる可能性が高くなります。

【POINT】融雪剤散布地域や海岸地域では、サビによるフレーム等各部の腐食の予防も大切です。